夕刊 磐城新聞
四月二十七日發行
（日曜祭日翌日休刊）

行き詰れる歌人に與ふ

渡邊徹

一

『僕はこの頃行きづまつたためか歌がつくれなくなつた』とか『歌をつくつてもどうも思ふやうにいかない！』といふやうな言葉を本當にまぢめに歌をうたはふとする人たちから聞くことがある。だがそれは大變贅澤な言ひ分だ。現實は流動し、而も絶えず前進してゐる際にこういふ事を呟くのは、恐らくその歌人が前進しつゝある現實を見る目を失つて、固定したものに足を落ちつけてしまつたからに他ならないであらう。歌がこちく〜の理論から出發して、事實から出發しないならば固定してしまふものである。

現實は流動し、しかも絶えず前進する、などといふことは誰れにでもわかることだが、この前進に伴つて前進するものには決して行きづまりはない筈だ、といふことも今更言ふまでもないかのやうに見える、所がこのイロハを多くの人は忘れがちであり、そして『僕は行きづまつた』と言つて自分がこのイロハを忘れてしまつたことを棚に上げて煩悶してゐる。これが『藝術的な『崇高』な煩悶だと思つたら間違ひだ。その歌人は愚かにも、全く愚かにもそのイロハを忘れてゐるふやうなことが非常に屢々會にだけあてはまるのであ

のだ

勿論、此頃は『財界が行きづまつた』とか『政治や文學も行きづまつた』とい叫ばれてゐる。だがその行きづまりは、ブルジョア財界、政治、文學等々行きづまつただけの話で、非進歩的ブルジョア的な立場から見た場合のことなのだ（此間若干行削除）資本主義社つて、資本主義と闘つてゐるプロレタリアートの立場には行きづまりは何一つない。この前進する階級の立場から見れば、資本主義の行きづまりこそ、實はプロレタリアートが前進し得ることを意味し、またしつゝあるのだ、と見ることが出來る

本當に歌人が、自分の行きづまりを打開しようとするならば、この前進し得るものの立場に立たなければならない

だが、行きづまらないもの立場に移らうとすることは、決して簡單な仕事ではない。と言つたところで全然不可能だといふことを意味するのでもない。

日常吟

赤津興身

○飢ゑたるを救へと乞ふるルンペンに金歯光るはふさはしからず
○反組合運動といふがありと聞けりむさばる心猛々しと云はむ
○眞夜中に自動車の音しげく通ふ何運ぶらんトラックの音
○眞夜中に醒めたる吾は歌などをおもひなからにいつか眠りぬ
○汽車に乗り後れしはむしろ幸なりき次の汽車までよき話聽きぬ

水明句抄

四月廿一日　萍生山房にて

鈴木秀山

籔ごしに見ゆる灯や竹の秋
夕ぐれの李の花に風のなし
そよりともせぬたそがれや竹の秋
四五本の棕梠を交へり竹の秋
幹たりて皆もつ李花ざかり

高橋蒼夫

窓に傍れば雨の李の白さかな
竹樋にあふるる水や竹の秋
釣瓶竿立てかけてある李かな
行き過ぎしバスの埃や春暑し
かゝりたる杉の枯葉や竹の秋

渡邊何鳴

春暑し雜草はやも實をもてる
竹秋や深々澄める山の沼
夕闇にうかみて白き李かな
暮れかゝる空に眞白き李かな
咲きさかる李に駒鳥のひそみ鳴く

拈華微笑

鐵道關係で增收愈々確實。常磐炭界有卦に入る
◇
どうやら冷灰にならずに濟みさうな木炭組合
◇
古い文句だが帶に短し襷に長い後任平青年團長
◇
花は昨日の昔語り。新綠に溌ぐ陽の光り爽やか
◇
うすものの挑發季近づき女給のエロ發散に當局の眼が光る

月夜の木の芽（童謡詩）

島田忠夫

青いあをいよ
月夜の木の芽
山はまあろく
月てりわたる
白くけぶるは
辛夷の花か
月に照られて
まんさくの花か
月に寢呆けた
鳥でもあろよ
ふはりふはりと
木の芽の山を。

茱の花月夜

一木二郎

[illegible]のそばの
島畑
月夜に茱の花
眞盛り
町で活動
見たかへり
乘せてもらつた
兒さんの
自轉車の上で
みたおぼろ
肥料の匂ひも
してました。

4月28日

△名工左甚五郎歿す（寛永一一）△ハーヴアード天文臺太陽幅射熱四萬倍の新星群發見を發表す（昭和六）△愛宕江堰竣功式△第二次臨時議會召集詔書公布さる△九州本線で列車妨害の爲貨車十四輛河中に顚落す△遼寧民衆義勇軍通化を占領し邦人は領事分館に收容△我軍千五百の反吉林軍と激戰の後海林に入城す△上海の停戰會議に於て停戰協定草案を非公式に確認す（同七）

吉田眼科病院

社會の今日

○霧雨の靜かにかかる猫柳、つくづく見れば春たけにけり　北原白秋

藻草生ふ噴井の底のうす綠　諸入

次の新講談豫告

愈々明廿八日より

幕末血史 劍火無情　津屋義人作　菅野祐作畫

目下本紙上に掲載の講談『お蘭陀お蝶』は讀者の白熱的大好評裏に愈々近く其の完結を見ることゝなつたので引續きその次に掲載する讀物につき、本社は早くから愼重に審議を凝らした結果、左の一大雄篇を選定して讀者の清鑑に供することに決定し

本篇は、武田耕雲齋が幕末に於ける、決死血闘の事蹟に絡まる、其の寵妾お時の悪戰苦闘や、水戸藩の國老、田丸稻之右工門の娘松子が女ながらも、父に隨つて筑波山に於ける猛闘振、それ等の人々が或は屠腹し或は刑死し、更に貞操お時の殉死孝女、松子の自害等正く血と涙とに彩られた繪卷物である、大衆文藝の作家として、將又大阪、名古屋兩放送局に前後三十餘回の講演放送をした雄辯家たる津屋義人氏の麗筆によつて、漸次繰り擴げらるゝ此繪卷物こそ壯觀の極である尚挿繪は、其の精妙さ其の艶麗さを認められ、一躍斯界の寵兒となれる新進菅野祐作畫伯に依頼し、文と畫と相俟つて陸離たる光彩を紙上に添へることゝなつた乞ふ掲載の日より御熟讀御好評の程を——。

……作者の言葉……

大衆文藝と銘打つものには、ともすれば興味本位に流れ出鱈目を竝べて事實を誤り傳ふるものがあるが、これは實に寒心に堪へぬことで筆者は此の點に不滿を抱き、特に史實を傳ふべく此の種讀物に筆を染めることゝなつた、然し筆者は歷史家ではない、史實を調べることには絶大なる興味を有し、其の爲めには是れまでに隨分諸國を踏破してゐる、其の調査研究に依つて得たる正しき史材を骨として著者獨自の構想を肉として加へ、史實を最も興味多き讀物とすべく、全努力を傾注したものであるところ必ずや從來の所謂大衆文藝作品に比して、其處に一つの進歩があることを信じ敢て大方の御愛讀、而して忌憚なき御批評、御鞭撻を乞ふ次第である

講談 お蘭陀お蝶 (311)

渡邊默禪作　布施長春畫

德藏は逸平を相手に烈しく斬合つて遂に重傷を負はされた

お蝶は權三を美事に殺つてのけてから德三を助けて逸平を斬つて斃した

德は最う所詮望のない命であつたを知つてお蝶の介抱を拒み人殺しの科は自分が引受けるから一刻も早立退いて呉れと促立てたさうして涙ながらにお蝶が立去つてから苦痛をこらへて立場つて、路傍の松の幹を刀で削りやたての筆で『二人を殺した者は自分である！』と書きつけて其の場に悲壯な死を遂げた、彼の最後は實にドラマチックであつた、チヴアルリックであつた。

それから白須賀の平太の家にゐると、天下の機運は急轉直下、幕軍は鳥羽伏見の戰から一たまりもなく敗走して、間もなく官軍の東征となつた

東海道の方へ進撃して來たのが總裁有栖川親王を初め、參議の西郷隆盛、林通顯、木梨精一郎などで、慶應四年の二月末には白須賀へドンく〜繰込んで來た

羽分の平太は天朝への御奉公は此の時だといふので大勢の乾兒を率ひて官軍の爲めに奔走して、多大の便宜を與へたがお蝶は龍馬の志ざしが貫けたかと思ふと躍立つばかりの思ひで形見として貰つた百兩の金を回向料かはりに投出して、食料だの、草鞋だの、鼻紙だの、實だの、必要な軍需品を買入れてそれを寄贈し大いに官軍をねぎらつた爲め、兵士どもは悦んで白須賀のお蝶く〜と言囃した

その事を耳にした參議の西郷や木梨が床しいことに思ひ、宿の本陣に着くと平太とお蝶とを呼出して先鋒の鎭撫使にお目通をさせた

お蝶は何心なく御前へ出た、鎭撫使から有難い御旨が下つた、はつと平伏しお禮申し上げて、さて漸く顏を擡げて見ると、驚くべしである

鎭撫使こそは自分が十年前の戀の悶着、ふつてく〜振りぬいた爲め、あはやお手討の一騷ぎに龍馬が血の涙の御異見、打つた釘がひゝと魂にこたへて、無明の醉をお覺しなされた、公卿さま、參議の浮橋眞輝郷——變名——であつた

お蝶は、おやと思つた

卿も奇遇に驚ろかれた

二人の間にくりかへされた昔語りはいかに同席の西郷や木梨を不思議がらせたであらう

無論、龍馬の話しが出た問ふも答ふるも涙の種であつた、お蝶は、此の時龍馬の歌をかいた短冊を御覽に入れた。

卿から褒美として金五十疋、外に刀劍一口を與へられた

その刀は卿が參州で、安くお買上げになつたものだといふことであつたが頂戴して持歸つた後で見ると、想ひきや！火打峠で金五郎に奪はれた龍馬のかたみ一文字の寶刀であつた

何處を甚麽しててん轉して飛廻つたものか、十年の後に舊の持主に戻るとは幾んど說明すべからさる奇異の因緣である

王政復古、明治の代になつてからお蝶は矢張、平太の家にゐた。いろく〜良緣もあつたけど亡き人の龍馬へ操を立てゝ獨身を通して了つた

お菊の死後、姉御まさりの女伊達衆として東海道にその芳名をうたはれたが明治二十三年頃、平太が歿してから間もなく逝去つた

平太の跡は一の乾兒が相續して今猶ほ三河屋といふ砂糖問屋を營み、地方有數の勢力家として尊敬を拂はれてゐる。

（大尾）

屋根材の大王（日の出）（太陽印）便利瓦
耐久力優に二十ヶ年以上
壹坪葺上八十錢內外
日本建築紙工株式會社 磐城代理店
銘木 ベニヤ板 天井板 屋根板 內外木材
精實勉强御用命を願ひ上ます。
㊌織田材木商店
平町字紺屋町四〇 電話四六〇番

內科 外科 花柳病
臟 一般 科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

シンガーミシン
今や家庭の裁縫は悉くミシン裁縫の時代で御座います。シンガーミシンを現金なれば安く月賦なれば七圓で販賣致します
今が一番の買ひ時！
格安整理品もあります!!
◎ミシンはミシン會社から！
◎新品中古品共大勉强……！
◎中古品は買入と販賣……！
平町田町
シンガーミシン 平販賣所

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
（入院隨意）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

cafe
喫茶と食事
昇喬
聚樂館南隣電話四六番

營業種目
石油揮發油輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、コールタール、植物油、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……
（型錄進呈）
◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三 八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショーストーブ

新學期の裁縫用具はハシモトヤへ！
女學生用カバン
澤山入荷しました……。
（少年店員募集）
田町 ハシモトヤ糸店
電十四番

㊣
春。
清新な…
紳士型 帽子とステッキ
若人向 ポプリンワイシャツ
お子様用 新らしい洋品雜貨
中野洋品店
平二・電五十三番

ショールとパラソル
明朗、清新な本春流行の逸品を豐富に陳列いたしました。
新型 ハンドバックと御化粧品…

平町田町
高久病院（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

夜間診療
胃腸 十二指腸虫病
內科
專門
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
專門
松村胃腸科醫院
（平町南町電一〇七番）

價格の釣上に因つて 增收愈々確實となる
納炭に惠まるる常磐各社

鐵道省への納炭契約については本年は昭和石炭會社が內地當業者を代表して交渉、昨年より一圓十錢位の高値を主張して讓らないのに對し、鐵道省では數量も昨年より六十萬噸減の三百廿萬噸、價格も民間側との間に少からぬ開きがあり、かくて交渉は依然まとまらないが內地炭販賣獨占機關たる昭和石炭の强硬を牽制せんとして廿五日撫順炭販賣會社と契約した單價さへ從來より六十五錢乃至一圓高である處から觀ても既報鐵道側の主張する四十錢高より遙かに高價なる處で決定を見るべきは今や殆ど既定の事實で全納炭の二割を占むる常磐炭界本年度の莫大な增收蓋し期して待つべきものあるに至つた

木炭組合 存續殆と確實
解散の不當決議を其筋から指摘さる

濱三郡木炭同業組合の存廢問題は昨報の如く存續說が次第に有力となつて來た矢先今二十七日赤士內務部長から組合に對し過般の總會で豫算と共に附帶決議せる六月一日からの組合解散は會議錄調査の結果組合規程に違背せる不當決議で無効な爲め至急附帶決議の取消方を申請する樣に通牒あつたので近く緊急總會を開き提案する事となり更に存續說に拍車をかけた態で同組合を除く縣下四組合は既に存續に決定して居る關係もあり大勢は急轉直下解決に向ふに至つた

在鄉軍人平分會 天長節祝典

在鄉軍人平分會では二十九日の天長節を卜し午前九時から松ケ岡公園忠魂碑前に式典を擧行し十時から春木亭で評議員會を開催決算報告、監事及組合長補欠推薦、模範會員表彰された岩立淺藏外三名の賞狀傳達をなす

多田井氏の勇退に 後任團長人選難
總會を前に詮衡を急ぐ

平青年團總會は來月五日マルトモホールに開催豫算決算を附議し役員の滿期改選を行ふが現團長多田井榮次郎氏は今回の町議選擧に出馬の爲め勇退する事が確實となつたので之が後任を決定すべく物色中で現副團長後藤桂仙、金成泉一郎、分團長藥谷喜太郎、加藤正保、磯貝彌の諸氏も話題に上つて居るが何れも夫々の事情で纏まり兼ねる狀勢にあり差當り人選難に陷つた形ちで目下分團長が選衡委員となつて寄々協議中である

定員十八名に對し 立候補二十五人
競爭猛烈な四倉町議戰

四倉町會議員の候補者は逐日改選期の切迫に伴れ運動が漸次本格化しつつあるが現在の立候補數は本町八名、仲町六名、新町十名、外一名、計二十五名に上り十八名の定員を超過する事七名の多數で目下の情勢では一人の斷念者も無いらしく結局最後迄熾烈な攻防戰が續けらるるものと觀測さる

鐵道 團体 旅行

鐵道では左記の如く參拜と溫泉の廻遊團体を募集中である

（參拜）伊勢神宮、熱田神宮、京都、奈良、高野山、山田二見浦名古屋、期日五月廿日出發、同月廿五日歸著、費用概算汽車賃（三割引）十二圓二十六錢、其他十六圓三十錢、合計二十八圓五十六錢

（溫泉）富士、身延山、甲府昇仙峽、上諏訪溫泉、長野善光寺、澁溫泉、期日五月十四日出發、同月十七日歸著、費用概算汽車賃（三割引）八圓六十四錢、其他十圓八十三錢、合計十九圓四十七錢

電話使用料
納入頗る遲々

電話加入者に取つて最大の負擔である今年度第一期分の使用料納期は此の三十日迄であるが昨廿六日迄の納入者は加入者六百八十八名中百三十名で金額が多いだけ遲々として捗らないと

四倉管內兵事會議

四倉警察署管內一町四ヶ村の兵事主任會は來月一日午前十時から同署會議室で開く

鹿島村混戰乎？
二名位の超過豫想
六名立候補屆出で濟

來月二日行はれる鹿島村議改選は定員十二名に對し二名位の超過と見られ期日の切迫と共に一段と激戰を展開しつつあるが昨二十七日迄立候補を屆出たもの左記六氏である

佐藤米治、鈴木傳、佐原良近、高萩民雄、四家平雄、江尻仲

紫煙と美酒の香漂ふ 水無き港カフエー夜景
薄ものの挑發季を控へて其筋で取締りの目を光らす

夜の盛り場カフエーは享樂に尖鋭を追ふ新時代の潮流に乘じて著しく進出し朗なジャズは街頭に流れて巷の客を吸集しつつあるが現在平署管內では平町の三十四軒を筆頭に合計八十二軒を算し女給は百七十名に達して居る、之を昨年の今頃と較べれば二十一軒、四十余名の激增で今後益々增加の傾向に在り殊に今月は一年中の書き入れ時であつただけに何れも腕によりを掛けた結果新規屆出の女給が二十二名に及んだ、之等は最初假許可證を與へ身許調査の上正式に許可して居るが移動は實に頻繁で身許調査中既に他へ轉住して居るのもあり少くも五六軒を流り歩かぬものは無く非常な煩雜さを見せて居る。學力は尋常から高等卒業が多く稀には高女出のインテリもあり前借は最低五圓から最高百圓位で前借は次第に高み姿、酌婦、又は娼妓の泥沼へ辷り込むものが三分一を占める寒心すべき境遇にあり、月給は三圓乃至五圓の薄給の爲めお白粉代其他の雜費は唯一の收入であるチップに依る外なく、勢ひエロ行爲に出るものが少くないので薄物の挑發季を前に其筋では嚴重取締りの目を光らせて居る

クレー射擊大會
愈々明後日に迫る
隣縣其他參加數十名

既報—縣獵友會平支部主催杉山鑛業所及本社後援のクレー射擊春季大會は今明二日を殘す廿九日の天長節當日內鄕村磐炭製作所西方山神社前に於いて盛大に擧行されるが當日は遠く東京、栃木、山形、宮城の各地を始め地元選手數十名の參加申込あり近來の盛會を豫想さ

磐中人國記 二〇
赤井嶽男記

第十一回生の卷 下

◇建物會社の井上氏

昨揭、柴田德二氏の近代的ショップ、キーパー振りに對して會社方面には良きマネジメントである縣會議員而して消防博士の後嗣井上貞治郎氏がある。先年來の經濟恐慌で昏々嗜眠狀態に在る所謂開店休業の會社が多い今日着々整理の實を擧げて其の守成宜しきを持し、敢て派手ならずと雖も世上磐城建物あるを知られてゐるのは一に氏の功績に歸納して間違ひが無さそうである

◇紅顏夙くも獨立

原釜海水浴場丸仙旅館のむす であるが中學時代から賢姉おせんさんの婚嫁先である五丁目に落ち着いて了つて今では生粹の平つ子である、揚士を出ると東京へ飛び出して高田商會に入つたが、何かに拘束多い勤めの身では思ふ存分鵬翼を張る事が出來ぬと、惜んで止むるを振り切つて一本立ちとなり大日本鑛山邊を相手に麻袋の納入などをやつたが所謂資本主義經濟組織が白面空拳の氏に幸ひせず有望な仕事をみすみす中道で斷念して平へ歸つた

◇超粹人修養時代

時あつてか淺酌、春雨惱ましき宵の四疊半裡、切々の爪彈きを伴奏に金鈴を轉ばす美音を以て濃艷綺の如きザワリの一節を口吟んで心ゆく許り近松情調を味ひ端唄、都々逸、大津繪、長唄適くとして可ならざる無き今日の超粹人振りを發揮するに至つたのは主として前記東京に於ける獨立活躍時代の修養（？）に係るものだ。とは知る人ぞ知る插話である

◇揚士當時の眞摯さ

粹人小井上氏も以前はと云へば卒業の當夜大和家で開かれた卒業生同志の送別會で、箱崎豐氏（高久村）や故吉澤寅吉氏（當時材木町居住）が藝者を呼んだのに烈火の如く憤慨し、蹶然席を蹴つて立つた程の生眞面目で卒業の前年明治四十三年十月八日揚士の講堂に開かれた第二回英語講演會には辯士の一人として英姿颯爽とステージに立つたもんだ。當時を偲ばう

0

五甲　中川良治郎
5, PRINCE HENRY AND THE JUDGE

眞面目の態度が氣に入つた一語一語肚の底から絞り出るやうな聲で僕のやうな神經質の者は苦しくないか知らんと心配で堪らないが御當人は苦しくも何ともないのだそうな中川君の落着き振りは既に定評あり贅言を要せすだ—

0

惟ふに太い咽喉に惠まれた豐かな聲量と豐滿な休格から來る悠揚の態度とは當時既に其の片鱗を見せてゐたのであらう。

（此項未完）

見學の途上から
磐女旅行隊—（第三信）—

御陵と乃木神社

宿を出たのが七時半、昨日の疲れもすつかり直つて晴れやかに出かけました

最初に行つたのが伏見桃山御陵です、生ひ茂つた樹の間の白い道を進むうちに私共の心は壯嚴な感で滿されました

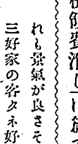
次に乃木神社に參拜致しました。日露戰爭當時の司令部の質素な建物や生ひ立ちなされた家等拜じました

死しての後まで尙　大帝のお側近く侍る將軍の忠誠を思ひながら……

方廣寺の鐘見物

再び電車にゆられて今度は三十三間堂、博物館は素通りで豐國神社へ參拜しました。それからすぐ傍の大阪の役の原因となつた方廣寺の鐘を見に行きました。やつと見る事の出來る位の小さな文字を見つけた時には、こんな些細なものがと不思議に思はれました、綺麗な街を通つて西大谷に至り後淸水寺へと向ひました（廿四日五條の宿にて）

。。。。四倉校ピアノ　四倉小學校では此程購入した價格八百圓のピアノを來る天長節より使用すると



艷罪黑白

◇金持つてお鯉。おなかが孫子もチト古臭くなつたのでけふは一つ新緑にふさはしい、新鮮な處を行く◇玉川の尻餅月丸は御愛嬌。谷口のマーザヤン勝太郎稼いで喜多子なんて何れも景氣が良さそう。三好家の客ゝネ好子は今更云ふも野暮なり、吉野家の君を松壽なんて凄いモーションだ◇久本の藝をひさごは良い心掛け、二葉家の座敷をゆり葉は荒つぽく米京のつい飲まされて〇〇つこよいは大人しさう。金榮ますみのつらさは老孃の常なり。同じ家の良いともなん友子に至つては萬事オーケーらしいがそうも行くまい◇湖月の云ふ事菊枝はしほらしく。開花の玉代が高助なんて事になると一寸考へさせられるし同じ家の夫がサ〆丸なんて益々大衆向きでなくなるが滿更そうでもあんめえとの事なり。

八年度匡救事業費 町村割當決定陳情
土木監督所で實情調査

縣下の八年度時局匡救事業費は過般の臨時縣會で各郡の割當額は決定したが町村別には決定せぬ爲め平土木監督所管內平、湯本、內鄕、小名濱、好間等炭鑛其他失業者の多い町村では農繁期に向つても失業者は依然減少せぬので速に着工すべく極力割當決定を急ぎ監督所を通じ縣に陳情して居るので小林所長は目下前記町村の實狀を調査中である

。。。。玉川青年團總會　二十五日午前十時から小學校に開き新事業計劃協議後藤田平分會長の軍事講演あつた

。。橫領　湯本町字三函二〇八古物商松崎澤吉（四一）が昨年十月新潟縣中頸城郡新井町城倉可成の依賴を受け湯本町澤田ヨシ外五名から取立てた貸金を橫領費消した事件の公判は明廿八日午前九時から竹內判事係小林檢事立會開廷する

。。。。第二校口腔檢診　來月二日全校生徒に對して執行

。。。。修養會例集　平町立各學校敎員より成る修養會は明廿八日午後三時から第三校に於て行ふ

湯の岳國有林火事 際どい處で鎭む
高野青年團の機敏な働き

一昨廿五日午後二時頃湯ノ岳國有林より發火したのを折柄箕輪村高野小學校に於て訓練中の高野青年團員十數名が逸早く發見、地元民數名と平營林署員田代氏指導のもとに消火に努めた結果天然闊葉樹林內の落葉を燒失したのみにて同五時半頃鎭火したが同所は平、植田營林署の赤松人工造林地に隣接し之に延燒すれば消火頗る困難で被害も莫大に上るのであり當局では團員の機敏な活動に感謝して居る、原因取調中であるが通行人の煙草の吸殼らしいと

諸判定應需
東京市本鄕區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部 神 館

新 四月二十八日 金曜
舊 四月四日 甲子 先勝 成 鬼宿

▲一白の人 平地を行くが如く困難な見ず物事運ばるる日▲二黑の人 半途に故障の起りて心焦立つのみ進むに凶▲三碧の人 氣運佳なれども移り氣を生ずれば事成らず▲四綠の人 眞面目に常業に從はるれば安全投機心は凶▲五黃の人 福德備るも動もすれば他所に逃出さんとす▲六白の人 陣容次第に亂れて虛を突かるゝ事あり注意▲七赤の人 無理押しは苦勞を增すに過ぎず靜かなるが吉▲八白の人 勇氣に任せて進むときは失敗あり愼重なれ▲九紫の人 思慮分別は成功の本輕擧を戒む盜難は注意

見習生募集
十四才より十六才迄
高橋時計店 精幸堂號
（委細面談）
平町才槌小路
（キクチ自動車店向）

廣告
恩給 年金 即時立替
公社債 復興勸業 債券高價買入
平町一丁目十四
鈴木重藏

木炭代用この上のない經濟の德用豆炭
壹袋正五貫目入 金八十錢也
御注文次第御屆ケ申シマス……。
南町（電話六六三番）磐崎屋酒店
一丁目（電話五九六番）菅本武夫商店
白銀町（電話二九九番）水野氷店
六町目 矢吹石炭商店
平驛前（電話三七番）阿部石炭商店
◎特約店募集致シマス。

新茶賣出し
皆樣お待兼ねの新茶が根本園へまいりました。その情新な綠の香り、ふつくりうまい舌の味ひ、それは皆樣の心をさわやかにし、ごんなに氣力を增させることでせう。皆樣のこの床しいお滿足を、根本園の茶によつて。是非與へさせて下さいませ。
平四丁目 根本園 電話呼出二一七

外科全般 內科小見科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

有給社員招聘
經驗ノ有無ヲ問ハズ奮鬪ノ士ヲ望ム
在鄉軍人退職官吏優遇
（初任者指導ス）
希望者ハ履歷書急送アレ
郡山市府下三二番地
富國徵兵保險相互會社監督部
徵兵保險ハ相互ニ限ル本邦唯一ノ相互保險

專門 一般內科
內科ハ何デモ診察致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

內外建築材建具材
入阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番